

付録 2 アンケート票

アンケート票の内容を回答順番制御情報（質問の前に【】で質問条件を記述、省略されている場合無条件に質問提示）回答と共に以下に示す。

あなたご自身についてお伺いします。

SC1. あなたご自身は、お勤め先の組織（会社、団体、法人など）の規模、IT 利用状況（ハードウェアの導入台数、会社の IT に関する方針など）を、どの程度把握されていますか。当てはまるものを一つお選びください。

【SA】

1. 把握している
2. まあ把握している
3. 把握していない
4. 仕事はしていない

SC2. あなたご自身は、お勤め先のセキュリティへの取り組み状況を、どの程度把握されていますか。当てはまるものを一つお選びください。【SA】

1. 把握している
2. まあ把握している
3. 把握していない

SC3. あなたご自身は、お勤め先の DX（デジタル技術を利用した経営改革、新領域への進出など）への取り組み状況を、どの程度把握されていますか。当てはまるものを一つお選びください。【SA】

1. 把握している
2. まあ把握している
3. 把握していない

SC4. あなたご自身は、お勤め先における IT ハードウェア・ソフトウェア導入に関して、どう関与していますか。当てはまるものを一つお選びください。【SA】

1. 実質的な決定権を持っている
2. 実質的な決定権を、部分的に持っている
3. 決定権は持っていないが、選定や導入に関与している
4. 関与していない

SC5. あなたのお勤め先の従業員数（正規従業員数と非正規従業員（パート・アルバイトなど）の合計）は何人ですか。おおよそで構いませんので人数をお答えください。【OA（半角数字）】

SC5_1 正規従業員数 () 人

SC5_2 非正規従業員数 () 人

SC6. お勤め先でのあなたの仕事、もしくは所属している部署はどこですか。最も近いものを一つお選びください。【SA】

1. 経営者・役員
2. 社業全般（社長室・経営企画など）
3. 総務系（経理・財務・法務・人事）
4. IT システム
5. 購買（購買・資材など）
6. 製造
7. 広報・調査・マーケティング
8. 営業・販売
9. 研究・開発
10. その他（具体的に：)

SC7. あなたのお勤め先の業種は何ですか。最も近いものを一つお選びください。【SA】

1. 農林・水産・鉱業
2. 建設業
3. 製造業
4. 電力・ガス・水道業
5. 通信業（電気通信、放送など）
6. 情報サービス業（情報処理、映像・音声・文字情報制作など）
7. 運輸・倉庫業
8. 商業（卸売業、小売業）
9. 金融・保険業
10. 不動産業
11. サービス業（新聞、出版、映画、文教、病院、医療、社会福祉、保健衛生、廃棄物処理業など）
12. 教育・学習支援
13. 官公庁・自治体
14. その他（具体的に： _____）

お勤め先の組織（会社、団体、法人など）のプロフィールについてお伺いします

F1. あなたのお勤め先は資本系列上どの位置にありますか。最も近いものを一つお選びください。【SA】

※ 官公庁、自治体、外郭団体の場合独立系としてください。

1. 独立系
2. 企業の一般子会社
3. 特定の会社（企業グループ）向けの情報処理子会社
4. 持ち株会社

F2. あなたのお勤め先の所在地はどちらですか。当てはまるものを一つお選びください。【SA】

※ 複数の事業所がある場合は、ご自身がお勤めされている事業所ではなく、本社の所在地についてお答えください。

<47 都道府県>

F3. あなたのお勤め先の年間売上（収入）はどのくらいですか。当てはまるものを一つお選びください。【SA】

※ あなたご自身の収入ではなく、組織の売り上げや収入をお答えください。

※ 金融・保険業や会社以外の団体の方は年間の経常収益に当てはまるものを一つだけお選びください。

※ 持ち株会社の場合は、連結対象の企業全体について回答してください。

※ お勤め先が特定の会社（企業グループ）向けの情報処理子会社の場合、当該会社（企業グループ）全体について回答してください。

※ お勤め先が官公庁の場合は、「15.不明」を選択してください。

1. 100 万円未満
2. 100 万円以上、300 万円未満
3. 300 万円以上、1000 万円未満
4. 1000 万円以上、3000 万円未満
5. 3000 万円以上、1 億円未満
6. 1 億円以上、3 億円未満
7. 3 億円以上、10 億円未満
8. 10 億円以上、30 億円未満
9. 30 億円以上、100 億円未満
10. 100 億円以上、300 億円未満
11. 300 億円以上、1000 億円未満
12. 1000 億円以上、3000 億円未満
13. 3000 億円以上、1 兆円未満
14. 1 兆円以上
15. 不明

F4. あなたのお勤め先で社内 IT システムを担当している方は何人ですか。おおよそで構いませんので人数をお答えください。【OA（半角数字）】

F4_1 : 専任担当者 () 人

F4_2 : 兼任担当者 () 人

F5. あなたのお勤め先が利用しているパソコンは何台ですか。おおよそで構いませんので、機種別、OS 別に台数をお答えください。【OA（半角数字）】

F5_1 デスクトップ PC

F5_1_1 Windows 11 () 台
 F5_1_2 Windows 10 () 台
 F5_1_3 他の Windows () 台
 F5_1_4 Mac OS () 台
 F5_1_5 Chrome OS () 台
 F5_1_6 その他 OS () 台

F5_2 ノート PC

※キーボードを分離できるノート PC はタブレット端末に含めてください。

F5_2_1 Windows 11 () 台
 F5_2_2 Windows 10 () 台
 F5_2_3 他の Windows () 台
 F5_2_4 Mac OS () 台
 F5_2_5 Chrome OS () 台
 F5_2_6 その他 OS () 台

F6. あなたのお勤め先が利用しているスマートフォンは何台ですか。おおよそで構いませんので、OS 別に台数をお答えください。【OA（半角数字）】

F6_1 iOS () 台
 F6_2 Android () 台
 F6_3 Windows () 台
 F6_4 その他 OS () 台

F7. あなたのお勤め先が利用しているタブレット端末（iPad、Surface など）は何台ですか。おおよそで構いませんので、OS 別に台数をお答えください。【OA（半角数字）】

F7_1 iOS () 台
 F7_2 Android () 台
 F7_3 Windows () 台
 F7_4 Chrome OS () 台
 F7_5 Fire OS (Amazon) () 台
 F7_6 その他 OS () 台

F8. あなたのお勤め先が利用している物理サーバーは何台ですか。おおよそで構いませんので、OS 別に台数をお答えください。【OA（半角数字）】

F8_1 Windows Server 2022 () 台
 F8_2 Windows Server 2019 () 台
 F8_3 Windows Server 2016 () 台
 F8_4 Windows Server 2012 () 台
 F8_5 他の Windows Server () 台
 F8_6 その他 OS (Linux など) () 台

F9. あなたのお勤め先の IT システム化の現在の状況はどのようになっていますか。以下の業務系それぞれについて、当てはまるものを全てお選びください。システム化していない場合、「システム化していない」をお選びください。【MTMA】

※ [DaaS を利用している]を選ぶ場合は、[システム化済み]のいずれかもお選びください。

		システム化済み（クラウド-SaaS* 利用）	システム化済み（クラウド-PaaS* 利用）	システム化済み（クラウド-IaaS* 利用）	システム化済み（オンプレミス*）	システム化済み（パソコン単体）	DaaS* を利用している	システム化していない【排他】
F9_1	フロントオフィス（営業、販売、サービス、サポート）	1	2	3	4	5	6	7

F9_2	ミドルオフィス（経営企画、リスク管理、広報、マーケティング）	1	2	3	4	5	6	7
F9_3	業種固有（生産、開発、建設、輸送、倉庫、資産運用、インフラ運用）	1	2	3	4	5	6	7
F9_4	バックオフィス（総務、人事、IT など）	1	2	3	4	5	6	7

※ SaaS（Software as a Service）：アプリケーション処理をインターネット経由で提供するサービス

※ PaaS（Platform as a Service）：ハードウェア、OS、ミドルウェアなどのアプリケーション実行環境をインターネット経由で提供するサービス。アプリケーションは利用者が持ち込み、運用する

※ IaaS（Infrastructure as a Service）：仮想マシン（ハードウェア、仮想ソフト）をインターネット経由で提供するサービス。OSやミドルウェア、アプリケーションは利用者が持ち込み、運用する

※ オンプレミス：ハードウェアやアプリケーションなどを、会社、事業所または部門単位で構築・設置し、自ら運用する

※ DaaS（Desktop as a Service）：仮想化されたパソコン処理（デスクトップ）をインターネット経由で提供するサービス。エンドユーザー側はシンクライアントとなり、データが残らない

F10. お勤め先の情報システムに対する新規投資額、運用コスト、クラウドサービス（含むインターネットサービス）に支払う利用料についてお伺いします。

F10_1 お勤め先の本年度の情報システム新規投資額は、どのくらいですか。当てはまるものを一つお選びください。【SA】

※ ハードウェア・ソフトウェア購入費、システム開発費など一時的な投資金額

1. 10 万円未満
2. 10 万円以上、30 万円未満
3. 30 万円以上、100 万円未満
4. 100 万円以上、300 万円未満
5. 300 万円以上、1000 万円未満
6. 1000 万円以上、3000 万円未満
7. 3000 万円以上、1 億円未満
8. 1 億円以上、3 億円未満
9. 3 億円以上、10 億円未満
10. 10 億円以上、30 億円未満
11. 30 億円以上、100 億円未満
12. 100 億円以上、300 億円未満
13. 300 億円以上、1000 億円未満
14. 1000 億円以上
15. 不明

F10_2 お勤め先の本年度の情報システム運用費用は、どのくらいですか。当てはまるものを一つお選びください。【SA】

※ ハードウェア・ソフトウェア使用料、運用外部委託費、運用社内人件費、施設使用料など継続的な費

※ インターネットサービス、クラウドサービスの利用料は含めません。

1. 10 万円未満
2. 10 万円以上、30 万円未満
3. 30 万円以上、100 万円未満
4. 100 万円以上、300 万円未満
5. 300 万円以上、1000 万円未満
6. 1000 万円以上、3000 万円未満
7. 3000 万円以上、1 億円未満
8. 1 億円以上、3 億円未満
9. 3 億円以上、10 億円未満
10. 10 億円以上、30 億円未満
11. 30 億円以上、100 億円未満
12. 100 億円以上、300 億円未満
13. 300 億円以上、1000 億円未満
14. 1000 億円以上
15. 不明

F10_2 お勤め先の本年度のクラウドサービス（含むインターネットサービス）に支払う利用料は、どのくらいですか。当てはまるものを一つお選びください。【SA】

1. 10 万円未満
2. 10 万円以上、30 万円未満
3. 30 万円以上、100 万円未満
4. 100 万円以上、300 万円未満
5. 300 万円以上、1000 万円未満
6. 1000 万円以上、3000 万円未満
7. 3000 万円以上、1 億円未満
8. 1 億円以上、3 億円未満
9. 3 億円以上、10 億円未満
10. 10 億円以上、30 億円未満
11. 30 億円以上、100 億円未満
12. 100 億円以上、300 億円未満
13. 300 億円以上、1000 億円未満
14. 1000 億円以上
15. 不明

セキュリティへの取り組みについてお伺いします。

Q1. お勤め先のセキュリティへの取り組み状況はいかがですか。当てはまるものを一つお選びください。【SA】

1. セキュリティ対策実施済み
2. セキュリティ対策実施予定
3. セキュリティ対策未実施

Q2. お勤め先の、セキュリティに関する要請（決められたセキュリティ基準への対応依頼）元はどこですか。当てはまるものを全てお選びください。要請を受けていない場合、「要請なし」をお選びください。【MA】

1. 業界団体
2. 取引企業（サプライチェーン）
3. 顧客
4. 行政機関・役所
5. 販売店・ベンダー
6. グループ企業（親会社など）
7. その他（具体的に：_____）
8. 要請なし【排他】

【Q1 で 1（セキュリティ対策実施済み）または 2（セキュリティ対策実施予定）を選択した方にお聞きます】

Q3. あなたのお勤め先が対策済み、または対策予定のセキュリティ対策のきっかけは何ですか。項目ごとに最も当てはまるものを一つだけ選んでください。未対策で対策予定していない場合、「予定なし」をお選びください。

【MTSA】

		ガイドライン※準拠	自社で必要性を感じた	販売店・ベンダーから要請された	他団体・取引先が実施している	予定なし
Q3_1	ログ管理・保存（一定期間の保持および削除など）	1	2	3	4	5
Q3_2	データ保護（顧客データや機密情報などの適切な保護）	1	2	3	4	5
Q3_3	脆弱性管理（脆弱性の定期的なスキャンやパッチ適用の実施、セキュリティアップデートの迅速な適用など）	1	2	3	4	5
Q3_4	ユーザー認証・アクセス管理（従業員のアカウント管理や適切なアクセス権限の設定、強力なパスワードポリシーの適用など）	1	2	3	4	5
Q3_5	物理的セキュリティ（PC の鍵付きロッカーへの保管など）	1	2	3	4	5

Q3_6	ネットワークセキュリティー（ファイアウォールの導入、侵入検知システムの利用など）	1	2	3	4	5
Q3_7	バックアップと復旧（データの定期的なバックアップと災害時の迅速なデータ復旧策の導入）	1	2	3	4	5

※ ガイドライン：国や各所属団体のセキュリティーガイドライン（サイバーセキュリティ経営ガイドライン https://www.meti.go.jp/policy/netsecurity/downloadfiles/guide_v3.0.pdf（経済産業省）、自工会/部工会・サイバーセキュリティガイドライン https://www.jama.or.jp/operation/it/cyb_sec/docs/cyb_sec_guideline_V02_00.pdf（一般社団法人日本自動車工業会・一般社団法人日本自動車部品工業会）など）

【Q1で1（セキュリティー対策実施済み）または2（セキュリティー対策実施予定）を選択した方にお聞きします】

Q4. あなたのお勤め先が導入済み、または導入予定のセキュリティー製品・サービスは何ですか。当てはまるものを全てお選びください。【MA】

1. ログ管理・保管
2. ID 管理
3. アンチウイルスソフト
4. クラウドサービス向けセキュリティー
5. メールセキュリティー
6. ウェブセキュリティー
7. デバイス制御
8. ネットワークセキュリティー
9. EDR※・XDR※
10. バックアップ
11. その他（具体的に： _____）

※ EDR：利用者が操作する端末（エンドポイント）の挙動を監視し、エンドポイントに対して、攻撃の根本原因や影響範囲の特定を行う。

※ XDR：監視の対象をエンドポイントからシステム全体、ネットワークに拡張し、環境全体に対して、攻撃の根本原因や影響範囲の特定を行う。

【Q1で1（セキュリティー対策実施済み）を選択した方にお聞きします】

Q5. あなたのお勤め先のセキュリティー対策の実施状況はいかがですか。最も当てはまるものを一つお選びください。【MTSA】

		正しく運用 されている	存在するが 機能してい ない	存在しない
Q5_1.	セキュリティールールやポリシー	1	2	3
Q5_2.	セキュリティー教育・トレーニングプログラムの定期的実施	1	2	3
Q5_3.	セキュリティーインシデントへの対応体制（インシデント発生時の報告・対応プロセスの明確化）整備	1	2	3
Q5_4.	セキュリティー対策の定期的評価や監査（外部の第三者機関によるセキュリティー診断・ペネトレーションテスト）	1	2	3

【Q1で1（セキュリティー対策実施済み）を選択した方にお聞きします】

Q6. お勤め先が導入したセキュリティー対策や現状のシステムの見直し、評価はどのように行っていますか。当てはまるものを一つお選びください。【SA】

1. 自社内で定期的にセキュリティー設定の確認や見直しを行っている
2. 自社内で不定期にセキュリティー設定の確認や見直しを行っている
3. 委託業者にて定期的にセキュリティー設定の確認や見直しを行っている
4. 委託業者にて不定期にセキュリティー設定の確認や見直しを行っている
5. 導入以来行っていない

Q7. お勤め先が把握しているセキュリティー脅威（情報セキュリティー10大脅威 2023※より）は何ですか。当てはまるものを全てお選びください。把握しているものがない場合、「どれも把握していない」をお選びください。

【MA】

1. ランサムウェアによる被害
2. サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃
3. 標的型攻撃による機密情報の窃取
4. 内部不正による情報漏えい
5. テレワーク等のニューノーマルな働き方を狙った攻撃
6. 修正プログラムの公開前を狙う攻撃（ゼロデイ攻撃）
7. ビジネスメール詐欺による金銭被害
8. 脆弱性対策の公開に伴う悪用増加
9. 不注意による情報漏えい等の被害
10. 犯罪のビジネス化（アンダーグラウンドサービス）
11. どれも把握していない

※ 情報セキュリティ10大脅威 2023 : <https://www.ipa.go.jp/security/10threats/10threats2023.html>（独立行政法人 情報処理推進機構）

【Q7で11（どれも把握していない）以外を選択した方にお聞きます】

Q8. お勤め先では、前問で示したセキュリティ脅威について3年以内に身近な脅威として意識したことがありますか。当てはまるものを一つお選びください。【SA】

1. 意識したことはない
2. ある（セキュリティ被害は発生していないが、メール等による攻撃を確認したため）
3. ある（身近でセキュリティ被害が発生したため）

Q9. お勤め先が把握しているセキュリティ対策は何ですか。当てはまるものを全てお選びください。把握していない場合、「どれも把握していない」をお選びください。【MA】

1. ウィルス対策ソフトの導入
2. 外部サービス選定時のセキュリティ評価
3. パスワード強度を高めるルール策定・運用
4. 権限設定による適切なアクセス制限
5. 2つ以上の要素を組み合わせて本人確認を行う多要素認証の導入
6. セキュリティ事故発生時の報告ルール策定・運用
7. アクセスログの取得・監視
8. 定期的なデータのバックアップ処理
9. 従業員へのセキュリティ教育
10. サイバー保険への加入
11. どれも把握していない

【Q1で3（セキュリティ対策未実施）を選択し、Q2で8（要請なし）以外を選択した方にお聞きます】

Q10. お勤め先が、セキュリティに関する要請に対応できていない理由は何ですか。当てはまるものを全てお選びください。【MA】

1. コスト、経済的な制約
2. リソース不足
3. 他の優先事項
4. 経営陣のセキュリティへの関心や意識
5. 専門知識や技術的な要件の不足
6. 適切なベンダーや専門家がない
7. 組織の文化や風土
8. ビジネス的なメリットやペナルティがない

DXへの取り組みについてお伺いします。

Q11. お勤め先ではDXにどのように取り組んでいますか。当てはまるものを一つお選びください。【SA】

1. 取り組んでいる
2. 取り組み予定である
3. 必要と考えているが、取り組めていない
4. 必要と考えていない

【Q11で1（取り組んでいる）または2（取り組み予定である）を選択した方にお聞きます】

Q12. お勤め先が、「DXに取り組む、または取り組もうとする」背景にある経営課題は何ですか。DXで解決したい最も重要なものを一つお選びください。【SA】

1. 収益性向上
2. 人材の確保・育成
3. 売り上げ・シェア拡大
4. 生産性向上
5. 事業基盤の強化・再編
6. 新製品・新サービス・新事業の開発
7. 従業員満足度の向上
8. SDGs 対応
9. グローバル化
10. その他（具体的に： _____）

【F3 で 15（不明）を選択せず、Q11 で 1（取り組んでいる）または 2（取り組み予定である）を選択した方にお聞きします】

Q13. あなたのお勤め先の DX への本年度投資額は、どのくらいですか。当てはまるものを一つお選びください。【SA】

1. 10 万円未満
2. 10 万円以上、30 万円未満
3. 30 万円以上、100 万円未満
4. 100 万円以上、300 万円未満
5. 300 万円以上、1000 万円未満
6. 1000 万円以上、3000 万円未満
7. 3000 万円以上、1 億円未満
8. 1 億円以上、3 億円未満
9. 3 億円以上、10 億円未満
10. 10 億円以上、30 億円未満
11. 30 億円以上、100 億円未満
12. 100 億円以上、300 億円未満
13. 300 億円以上、1000 億円未満
14. 1000 億円以上
15. 不明

【Q11 で 1（取り組んでいる）または 2（取り組み予定である）を選択した方にお聞きします】

Q14. あなたのお勤め先での DX 推進体制はどうなっていますか。当てはまるものを一つお選びください。【SA】

1. 社長、会長、経営企画部門が主導
2. DX 推進専門部門が主導
3. 部門横断型プロジェクトチーム
4. IT システム部門が主導
5. 組織ごとに推進
6. 特別な推進体制はない
7. その他（具体的に： _____）

【Q11 で 1（取り組んでいる）または 2（取り組み予定である）を選択した方にお聞きします】

Q15. あなたのお勤め先では「DX に必要なスキル」をどのように確保していますか。以下のスキルの各々について最も重要な調達方法をお選びください。必要と思わない場合、「不要」をお選びください。【MTSA】

		既に社内 にあった	自社で育 成	新たに人 材採用	システム インテグ レーター などから 調達	不要【排 他】
Q15_1	プロジェクト管理	1	2	3	4	5
Q15_2	ビジネスアーキテクチャー設計（新規 事業開発・既存事業の高度化・社内業 務の高度化・効率化）	1	2	3	4	5
Q15_3	デザイン（サービス・UI・UX・グラフ ィック）	1	2	3	4	5
Q15_4	システム設計	1	2	3	4	5
Q15_5	プログラミング	1	2	3	4	5
Q15_6	データセキュリティ設計	1	2	3	4	5

Q15_7	データサイエンス	1	2	3	4	5
Q15_8	人工知能開発	1	2	3	4	5
Q15_9	音声・画像・映像の認識・生成	1	2	3	4	5
Q15_10	文章の認識・合成・翻訳・生成	1	2	3	4	5
Q15_11	ロボット開発（ドローン・自動制御含む）	1	2	3	4	5

【Q11で1（取り組んでいる）または2（取り組み予定である）を選択した方にお聞きます】

Q16. お勤め先がDXのために導入した、または導入しようとしているデジタル技術は何ですか。当てはまるものを全てお選びください。【MA】

1. AI（人工知能）
2. IoT（もののインターネット）
3. クラウドコンピューティング
4. ブロックチェーン（分散型台帳）
5. VR（仮想現実）・AR（拡張現実）・MR（複合現実）
6. 5G（第五世代移動通信規格）
7. デジタルツイン
8. サイバーセキュリティ
9. エッジコンピューティング
10. ビッグデータ解析
11. ドローン・ロボット
12. ローコード（Low Code）・ノーコード（No Code）
13. その他（具体的に： _____）

【Q11で1（取り組んでいる）または2（取り組み予定である）を選択した方にお聞きます】

Q17. あなたのお勤め先がDXに取り組む目的は何ですか。当てはまるものを全てお選びください。【MA】

1. 既存事業のプロセスを改革し、製品やサービスの生産性を高める
2. 既存事業の技術を変革し、製品やサービスの領域を拡大する
3. 既存の製品やサービスの顧客領域を拡大する
4. 今までに取り組んでいない新規事業領域に進出する
5. その他（具体的に： _____）

【Q17で1（既存事業のプロセスを改革し、製品やサービスの生産性を高める）と回答した方にお聞きます。】

Q18. あなたのお勤め先が、具体的に行っている、または行おうとしている「既存事業のプロセスを改革し、製品やサービスの生産性を高める」行動は何ですか。最も重要なものを一つお選びください。【SA】

1. 自動化・省力化
2. 意思決定のプロセス変革
3. ワークスタイル変革
4. 人材育成・熟練技術の継承
5. 在庫管理・物流最適化
6. コラボレーションやコミュニケーションの改善
7. 需要予測の精度向上
8. 品質管理の高度化
9. 業務プロセスや書類のデジタル化
10. その他（具体的に： _____）

【Q17で2（既存事業の技術を変革し、製品やサービスの領域を拡大する）と回答した方にお聞きます。】

Q19. あなたのお勤め先が、具体的に行っている、または行おうとしている「既存事業の技術を変革し、製品やサービスの領域を拡大する」行動は何ですか。最も重要なものを一つお選びください。【SA】

1. 書籍、音楽、映像などのパッケージ販売ビジネスから配信ビジネスへの進出
2. AI（人工知能）やVR（仮想現実）、AR（拡張現実）を取り込んだ新製品・サービス
3. 学校、塾、教室、研修などの集客型サービスからオンラインサービスへの進出
4. 製品やサービスの一括課金からサブスクリプション（定額課金）へ
5. 親会社・子会社・関係会社をデータ連携させ、競争力のある新商品・サービスの実現
6. 部署間でデータ共有および分析をできるようにし、新商品やビジネスを創出
7. カスタマーエクスペリエンス（顧客価値経験）を基に、新商品・サービスの実現
8. 製品やサービスの利用状況を把握、製品やサービスを改良したり、新たな利用方法を提案

9. その他（具体的に： _____）

【Q17で3（既存の製品やサービスの顧客領域を拡大する）と回答した方にお聞きます】

Q20. あなたのお勤め先が、具体的に行っている、または行おうとしている「既存の製品やサービスの顧客領域を拡大する」行動は何ですか。最も重要なものを一つお選びください。【SA】

1. B2B（企業間取引）型のデジタルマーケティング
2. AI（人工知能）やAR（拡張現実）を活用した商品提案
3. 店頭・店内販売からデリバリー販売への進出
4. 流通業者を通さずに、ネット経由で一人一人の顧客に最適な商品やサービスを提案
5. デジタルコンシューマーやカスタマーエクスペリエンスの取り込み
6. O2O（Online to Offline）※やオムニチャネル※
7. サプライチェーンのデジタル化
8. 小規模店向けキャッシュレスシステム
9. SFA（営業支援システム）やCRM（顧客情報管理システム）、MA（Marketing Automation）※などを活用した顧客接点の変革
10. メタバース（仮想空間）で製品やサービスの体験機会提供
11. その他（具体的に： _____）

※ O2O（Online to Offline）：オンラインでの活動をオフラインでの活動に結びつける

※ オムニチャネル：実店舗とネット通販を融合させる

※ MA（Marketing Automation）：見込み客の情報を管理、選別し、見込み客のリストを営業部門へ渡すなど、マーケティング活動を自動化する

【Q17で4（今までに取り組んでいない新規事業領域に進出する）と回答した方にお聞きます】

Q21. お勤め先が、具体的に行っている、または行おうとしている「新規事業領域」は何ですか。最も重要なものを一つお選びください。【SA】

1. 社内に集積したビッグデータの商品化
2. 社内に集積した知財（ノウハウなど）の商品化
3. 位置情報や監視カメラを使った行動監視の事業化
4. 電子認証サービスの事業化
5. 物やサービスを利用する人と、提供者をつなぐプラットフォーム事業への進出
6. 社内で培った技術・設備を活かし、人工栽培・養殖・リサイクル事業などへ進出
7. スマートシティー・スマートグリッドへの参画
8. 顔認証サービスを事業化
9. スマート農業やスマート漁業などへの進出
10. 既存の顧客サービス用インフラを利用して新事業展開
11. その他（具体的に： _____）

【Q11で1（取り組んでいる）と回答した方にお聞きます。該当する番号のみお答えください。】

Q22. あなたのお勤め先がDXに取り組んだ成果はいかがですか。以下の取り組む目的それぞれについて、当てはまるものを一つお選びください。【MTSA】

		成果が出ている	今後の成果が見込まれる	成果が出ない
Q22_1	既存事業のプロセスを改革し、製品やサービスの生産性を高める	1	2	3
Q22_2	既存事業の技術を変革し、製品やサービスの領域を拡大する	1	2	3
Q22_3	既存の製品やサービスの顧客領域を拡大する	1	2	3
Q22_4	今までに取り組んでいない新規事業領域に進出する	1	2	3
Q22_5	その他	1	2	3

【Q11で1（取り組んでいる）または2（取り組み予定である）を選択した方にお聞きます】

Q23. あなたのお勤め先のDXへの取り組み、または取り組み予定はこの1年でどう変化していますか。当てはまるものを一つお選びください。【SA】

1. 特に変わっていない
2. 取り組み、取り組み予定が早まった
3. 取り組み、取り組み予定が遅くなった

【Q11 で 1（取り組んでいる）または 2（取り組み予定である）を選択した方にお聞きします】

Q24. あなたのお勤め先で DX への取り組み、または取り組み予定がこの 1 年での早まった理由は何ですか。当てはまるものを全てお選びください。【MA】

1. 経営陣の旗振りがあった
2. ユーザー部門からボトムアップでの盛り上がりがあった
3. IT システム部門の旗振りがあった
4. IT ベンダーからの提案があった
5. 新聞・メディアで必要性や成功事例が取り上げられるようになった
6. 働き方改革
7. DX レポート 2 発表による影響があった
8. コロナ禍で業務を変革する必要性が増した
9. 同業他社・競合先が取り組んでいる
10. 法令や制度への対応
11. その他（具体的に： _____）

【Q11 で 3（必要と考えているが、取り組めていない）と回答した方にお聞きします】

Q25. あなたのお勤め先が DX を推進する際の妨げは何ですか。当てはまるものを全てお選びください。【MA】

1. ブラックボックス化したレガシーシステム
2. 新しいアイデアを基に未来を描ける人材の確保
3. 初期投資費用の確保
4. ネットワーク容量・セキュリティ確保
5. レガシー組織との軋轢
6. ハンコ文化（紙の書類に押印しなければ正式な承認とみなさない文化）
7. その他（具体的に： _____）

【Q11 で 3（必要と考えているが、取り組めていない）と回答した方にお聞きします】

Q26. あなたのお勤め先で DX を推進する際に、IT ベンダーに期待することは何ですか。当てはまるものを全てお選びください。【MA】

1. 会社、業務を理解した上での提案
2. 事例を含めた分かりやすい資料の提供
3. 費用対効果の明確な提案
4. 安心・安全な製品・サービスの提供
5. 製品・サービスの導入サポート・FAQ 対応
6. システムの内製開発や PoC（概念実証）への協力
7. 自社の事業を理解し、ビジネスモデル変革を共に推進する
8. IT ベンダーの体制強化、スキルアップ
9. IT ベンダーに期待することはない【排他】
10. IT ベンダーに何を相談すればよいのか分からない【排他】
11. その他（具体的に： _____）

【Q11 で 3（必要と考えているが、取り組めていない）と回答した方にお聞きします】

Q27. あなたのお勤め先が興味を持っているデジタル技術は何ですか。当てはまるものを全てお選びください。【MA】

1. AI（人工知能）
2. IoT（もののインターネット）
3. クラウドコンピューティング
4. ブロックチェーン（分散型台帳）
5. VR（仮想現実）・AR（拡張現実）・MR（複合現実）
6. 5G（第五世代移動通信規格）
7. デジタルツイン
8. サイバーセキュリティ
9. エッジコンピューティング
10. ビッグデータ解析
11. ドローン・ロボット
12. ローコード（Low Code）・ノーコード（No Code）
13. その他（具体的に： _____）